

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	加藤 幹郎	電 話	483-6157
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9836		事務事業名称	雨水管渠整備事業						短縮コード	経常	9836	臨時	
予算区分	会計	62	公共下水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	01	公共下水道施設拡張費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		下水道法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
公共下水道計画区域内の雨水を速やかに排除するため、雨水管渠の整備を図ることによって浸水被害を少なくすることを目的とし、老朽化した雨水施設も併せて改良工事を実施していく。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
事業開始当初は、降雨量30mm／hr対応だったが、雨水管渠の整備を50mm／hr対応にしたことで、都市型浸水被害及び道路冠水等が減少している。						大項目（節）	05	下水道						
						中 項 目	01	下水道						
						小項目（施策）	02	雨水排水の整備						
						細 項 目	01	雨水施設の整備拡充						
実施計画の計画事業	4505	雨水管渠整備事業												
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成11年4月 ～ 平成24年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	公共下水道計画区域内の雨水排水。						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 雨水管渠築造（雨水本管及び雨水用マンホールの整備）。						
	※平成23年度に計画していること： 雨水管渠築造（雨水本管及び雨水用マンホールの整備）。						
意図 （何を狙っているのか）	浸水被害の防止。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	21年度	22年度		23年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	公共下水道計画区域内の雨水排水	h a	62.91	47.1	4.5	11.92
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	雨水管渠整備延長	m	102	877	571.13	738
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	雨水管渠整備延長	m	102	877	571.13	738
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード		9836	事務事業名称	雨水管渠整備事業			所属名	建設課
			単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	28, 287	192, 627	147, 225	146, 528	
		県	千円					
		地方債	千円	57, 600	237, 900	153, 500	168, 100	
		一般財源	千円	16, 293	22, 945	32, 891	112, 391	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			委託料8件 22, 579千円 賃借料1件985千円 工事費3件 64, 692千円 補償費9件 13, 924千円	委託料4件 28, 791千円 賃借料1件1, 720千円 工事費4件 291, 900千円 工事費(前年度繰越) 3件 109, 620千円 補償費4件 21, 441千円	委託料3件4, 450千円 賃借料1件773千円 工事費6件206, 591千円 補償費5件12, 182千円 工事費(前年度繰越) 4件 109, 620千円	委託料5件6, 470千円 賃借料1件1, 388千円 工事費5件329, 175千円 補償費5件15, 961千円 工事費(前年度繰越) 1件 74, 025千円	
	人件費(B)			千円	21, 030. 8	21, 485. 6	16, 236. 3	
トータルコスト(A)+(B)			千円		123, 210. 8	474, 957. 6	349, 852. 3	
							16, 236. 3	
							443, 255. 3	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		雨水施設整備事業は雨水排水の整備として、上位の施策に結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		未整備地区及び浸水被害箇所の解消のためにも今後も続けていく必要がある。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		下水道法により、事業の実施は市が行うものと義務づけられている。				
☒ 可能性はない									
☐ 評価対象外事項									
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状の「対象」・「意図」で雨水排水の整備に結びついている。					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☒ 両方可能性がある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等		各担当の設計・積算業務の効率化を図るため、委託範囲を追加（積算基礎資料）することにより、工事の発注の効率化を図る。				
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☒ I T化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☒ ない						

コード	9836	事務事業名称	雨水管渠整備事業			所属名	建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			委託範囲を追加することにより、各担当の設計・積算業務に即時対応できるよう図っていく。		
		☒ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			委託範囲を追加することにより、各担当の設計・積算業務に関する省力化と成果の向上を図る。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☒	☐	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
雨水管整備をすることにより、家屋等への浸水被害、道路冠水の減少等の都市型水害への対応を図って欲しい。	

所属長コメント	浸水被害の軽減を図り、安全、安心な市民生活を形成していくことから、委託範囲を追加し、設計・積算業務の充実を図りつつ、社会資本総合整備計画に基づき、計画的に雨水整備を実施していく。また、短期的な整備として既存排水施設を活用した補完的な対策について検討していく。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続	委託範囲を追加することにより、今後この事業を積極的に展開すること。
	☒ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☐ 現状のまま継続		